

2016年7月26日 千葉大学アカデミック・リンク・センター
千葉大学アカデミック・リンク・セミナー/ALPS セミナー
「大学教育における ICT の効果的な活用 :
北海道大学オープンエデュケーションセンターの事例から」
参加者アンケート集計結果

当日参加者数 : 36 名 (アカデミック・リンク・センター・附属図書館関係者を除く) アンケート提出数 : 25 件

千葉大学アカデミック・リンク・センターは、教育関係共同利用拠点として、「教育・学修支援専門職」の養成のために必要な研修プログラムの構築・運営の準備に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。なお、記載いただいたご意見・ご感想は、個人名・組織名が特定できないかたちで公開する場合があります。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・教育における ICT の活用事例を知ることができてよかった。
- ・海外の動向、北大の取り組み、調査概要
- ・北海道地区、国立大学の教養教育連携事業の存在を知りませんでした。こういう形ものは全国各地に存在するのでしょうか？
- ・コンテンツ制作の事例を知ることができ、大変参考になりました。
- ・北海道大学での先進的な取り組み
- ・ICT 活用教育の利用状況
- ・教育支援(OER)活用
- ・大学教育における ICT の進展度と進展における課題が見えてきた。
- ・北大のオープンエデュケーションセンターの取り組み
- ・重田先生のレクチャーについて項目が解りやすく整理されていたと思う。また、AXIES の調査結果を踏まえながら課題抽出も明確にされていた。調査結果の ICT 導入状況で「講義収録システム」と「e-ポートフォリオシステム」があまり導入されていないという結果は意外であった。根本的な課題は「教育方法の普及」であると実感した。
- ・特に目新しい事はありませんでしたが、ICT が初めてという方にはよかったとおもいます。(ただそのような場合、略語はできるだけ避けた方がよいとおもいます。)
- ・「ICT 教育」と言う普段は初等中等教育段階での状況を見ているせいか、高等教育では中心となるものが変わってくるのではないかと感じました。※2020年に学習者用デジタル教科書普及(タブレット一人1台に向けての動きなど)
- ・具体例があり、内容はよくわかりました。
- ・動画教材の制作過程やどのような体制に行っているのかという点につきましてとても興味深く拝聴させていただきました。ありがとうございました。
- ・ICT を活用していかに学習していくかということが良く分かったと思います。
- ・制作体制が重要であることが確認できました。一定レベル以上のスキルが無ければ、大学教育で活用できる教材は作成できないですね。
- ・AXIES の調査はこういうことだったか！とよくわかりました。
- ・MOOC の修了率の低さをカバーすべくとてもきめ細かな支援を工夫されていること。
- ・オープンエデュケーションにおける動画コンテンツの需要

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・LMS の提供状況について国立大学で 89.9% という集計だが、これは全学導入とは思えないが、要するにすべての教育、授業で活用が日常化しているのでしょうか？
- ・録音できる講義室は固定なのか。
- ・OER の取り組みはすごいと思ったが、そこまでのメリットや必要性が疑問に残った。目的や期待する効果を明確にする必要があると思った。
- ・諸外国は普及完了して、日本が普及が十分でない。→なぜなのか？ 予算・時間・人材が問題であるならば、その解決策はあるのか？ 大学の機能強化とか学内資源の再配分という答えしかないのか。
- ・運営体制、管理体制等
- ・全体的によく理解できたのでありがとうございました。
- ・わかりやすかったです。
- ・今回は「ICT の効果的な活用」の中でも e-ラーニングを活用した学修支援といったテーマだったため、e-ラーニングが中心でしたが、大学教育における ICT の活用シーンを体系的に整理した場合、e-ラーニングを含めて、どのような要素があるのか知りたいと思いました。
- ・少しでもご紹介いただいたことに近づけるか？ と思うとどうも難しいと感じました。小規模な機関でもできることを紹介いただきたい。
- ・センター職員総数/何人のスタッフで年間 500 コンテンツを作成しているのか。
- ・このプログラムを実施したことによって、どの程度の効果があったのかを教えてください。
- ・外部評価は必要だと思います。
- ・オープンにするということを悪い方向で「均一化」ととらえることもできます。授業の個性とか、多様性と反論されたときどのように折り合いをつけるか、考えていきたいと思っています。
- ・わからなかったことは特にない。

3. 大学における教育・学修支援の在り方についてのお考え、教育・学修支援のために必要と思う資質・能力、また、教育・学修支援のご所属先での取組事例やご存知の特徴ある事例などがあればお書きください。

- ・なぜ「独自教材」が必要なのか？ オリジナルコンテンツでなく、切り貼りセンスだけの独自が多い実態との関係。
- ・システムインフラの早期整備、(LMS と e-ラーニング+電子書籍)LMS がバラバラすぎる問題。
- ・学内の共通認識としての ICT の重要性が不可欠であると感じた。そのための取り組みや途中の問題と解決方法について確認したい。
- ・ICT 導入ならびに授業への活用には専門職員の存在は重要となると考えるが、北海道大学のオープンエデュケーションセンター永嶋氏の事例発表によると北海道大学のサポートシステム、ソフト等が素晴らしく充実していると感じた。余計な心配かもしれないが、(学生アルバイト以外の) スタッフの方の任期やキャリアパス等が若干気になった。本学は人件費率の抑制が課題であり、教育サービスとのバランスで苦しい状況にある。
- ・学内における組織的な取り組み、その体制を確立することができるのか、必要な取り組みであることを教職員が認識できるのか。個々の能力も大切ではあるが、組織としての体制や認識を共有することが重要ですね。
- ・学生の学習分析 (LMS、動画コンテンツ) の促進、教員の方々への ICT 利用促進の講習会の実施。

4. 本日のセミナーの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・ICTの活用を推進するためには、これらの領域に詳しい職員を育成する必要性を感じました。
- ・報告者のお二人、お疲れさまでした。貴重な内容でありありがとうございました。
- ・非常に参考になりました。
- ・かなり具体的な内容、ノウハウを発表されていました。とても参考になりました。頑張れ北大!
- ・私は北海道情報大学で科目履修、千歳科学技術大学に見学の経験がありますが、e-learningについて北海道はかなりレベルが高いことがよくわかりました。
- ・とても勉強になりました。
- ・非常に有用でありました。
- ・私は何度もうかがっているのですが大丈夫ですが、本セミナーのチラシに「アカデミック・リンク・センターI棟」としかかかれていないので、附属図書館のところに所在することがわからなかった人もいたようです。(初めて来た同僚)
- ・大変興味深い講義でした。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・参考になりました。ありがとうございました。
- ・非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・貴重なお話をいただきありがとうございました。

5. 次の(1)、(2)について、該当するものに○をつけてください。

- (1) a. 千葉大学外の方 20名 b. 千葉大学内の方 4名 回答なし 1名
(2) a. 学生 0名 b. 教員 4名 c. 大学職員(図書館職員を除く) 8名 d. 図書館職員 6名
e. 出版関係 1名 f. その他 4名 回答なし 2名

6. セミナーを何で知りましたか?

- a. Web(アカデミック・リンク・センター) 2名 b. Web(図書館) 0名 c. Web(千葉大学) 0名
d. 図書館内電子掲示 0名 e. ポスター 0名 f. センターからのメール 16名
g. Facebook・Twitter 0名 h. その他 6名(asagao、大学図書館協会メーリングリスト、NDL、
大学内FD教育の周知案内など) 回答なし 2名
(※複数回答あり)

7. 千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

お名前：() ご所属：()
電子メールアドレス： 申込時に利用したもの それ以外 ()

ご協力ありがとうございました。

※10名が新規に継続的な情報提供を希望